

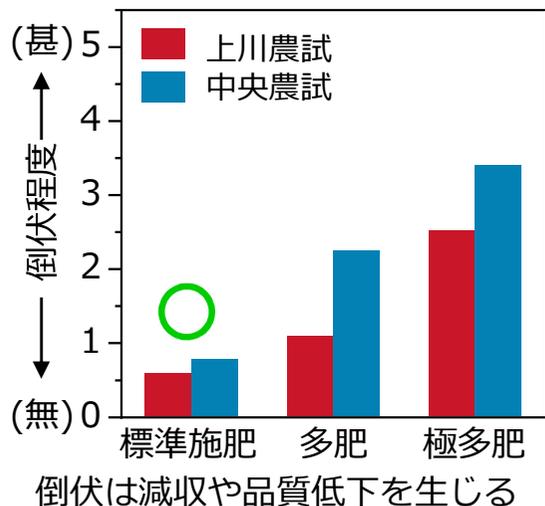
多収米品種「そらきらり」の作り方

背景

多収で病気に強い中食・外食向けの「そらきらり」では、安定した収量と品質が得られる栽培法が求められる。

成果

1 倒伏させない施肥管理を



期待される効果

「そらきらり」の普及を促進し、米の低コスト生産や環境負荷低減に貢献する。

2 標準施肥量で多収を実現

地域例	標準施肥量 ¹⁾ (kgN/10a)	目標収量 ²⁾ (kg/10a)
比布町	9.5	680
岩見沢市	9.0	650
札幌市	8.5	610

- 1) 低地土(乾)の場合
- 2) 各地域の平均的収量より20%多収



葉枯れが少なく光合成能力が高い「そらきらり」

3 収穫は「きらら397」より遅めに



収穫の目安は出穂期後積算気温で1100~1200℃
(「きらら397」より3~5日程度遅い)